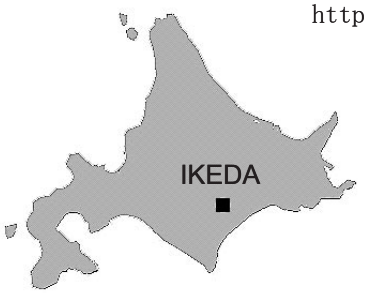
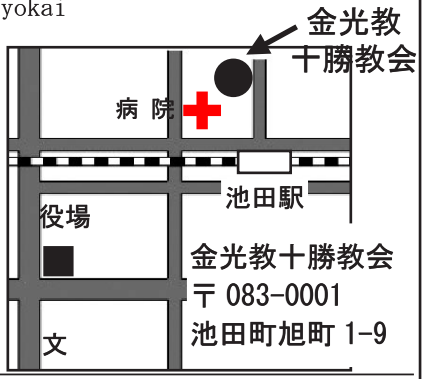
No.40　2008, Nov.　　11 月・生神金光大神大祭号

http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai



十勝教会だより 40

☎　015-572-2322
fax　015-572-4213



金光教十勝教会
〒 083-0001
池田町旭町 1-9

生神金光大神大祭を迎えて・「立教神伝を」いただく

金光教十勝教会

立教神伝

（「金光大神御覚書」・安政六年十月二十一日）

この弊（へい）※1切り境に肥灰（こえはい）※2さしとめるから、その分に承知してくれ。外家業はいたし、農業へ出、人が願い出、呼びに来、もどり。願いがすみ、また農へ出、またも呼びに来。農業する間もなし、来た人も待ち、両方のさしつかえに相成り。なんと家業をやめてくれんか。其方（そのほう）四十二歳の年には、病気で医師も手を放し、心配いたし、神仏願い、おかげで全快いたし。その時死んだと思うて欲を放して、天地金乃神を助けてくれ。

家内も後家になったと思うてくれ。後家よりまし、もの言われ相談もなり。子供連れてぼとぼと農業しおってくれ。此方（このかた）のように実意丁寧神信心いたしおる氏子が、世間になんぼうも難儀な氏子あり、取次助けてやってくれ。神も助かり、氏子も立ち行き。氏子あっての神、神あっての氏子、末々繁盛いたし、親にかかり子にかかり、あいよかけよで立ち行き。

上の一文は「立教神伝」として伝えられる、安政六年（一八五九）に教祖様が天地金乃神様から受けられた御神伝です。その内容は、信心深いが一介の農民であった教祖「赤沢文治」に対

写真－立教聖場

教祖様の自宅兼お広前を復元したもの（金光教本部境内）

して、神様から「農業を止めて、取次（宗教活動）に専念して欲しい」というお頼みでした。さらに、天地金乃神様は「取次によって世の中の困っている者、難儀をしている者を助けること、そのことが人間が助かりだけではなく、天地金乃神自信の助かりにもなる」と続けています。この御神伝を受けられた後、教祖様は農業を止め自宅のご神前での取次（宗教活動）に専念されることになりました。※3

実はこの「立教神伝」にはもう一つ別の内容のものが残されており、それには

五色の弊切りてあげ。この弊を切り境に肥灰さしとめに相成り候。おいおい家業やめと仰せつけられ候。

（「お知らせ事覚帳」・安政六年十月二十一日）

との単純な内容にとどまっています。どちらも教祖様自身によって書き留められたものですが、年代的には後者「お知らせ事覚帳」版の方が古く、最初に教祖様が自身が神様から受けられた内容は後者のように簡単なものだったのかもしれません。その後、明治七年を過ぎて冒頭の内容の立教神伝が書き記されたのですが、そこには農業をやめ取次に専念することの「目的」が詳細に書き足されています。つまり、安政六年当時には神様からのお知らせを教祖様自身も完全に理解していたわけでなく、後年、教祖様の信仰が深まるにつれ、取次に専念することの意味・目的がはっきりとし、改めて当時の神様からのお願いについてそのことを書き加えたと言えるでしょう。また、それは、教祖様の天地金乃神様に対する信心、取次による救済への決意をあらためて表明されたものでもあります。

教祖様が「立教神伝」を受けられてから今年で一四九年が経ちました。しかし、相変わらず世間には「難儀」が溢れています。天地金乃神様が願う「神も助かり、氏子も立ち行く」世界にはまだほど遠いものがあるようにに思えますが、教祖様の信心を受け継ぐ私たち一人ひとりが「立教神伝」に示された教祖様の決意を受け現していくことが望まれます。

平成二十一年十一月　金光教十勝教会

※1 御幣（ごへい）。二本の紙垂（しで）を竹または木の幣串に挟んだもの。教祖様は御神伝を受けた時、神棚に飾る御幣を作る作業をしていた。

※2 農業のこと。

※3 それ以前に、庄屋に隠居を願い出て、長子の浅吉に家督を譲っていましたが、この後、完全に取次に専念されました。

金光教立教百五十年記念大祭団体参拝のお知らせ。

来年（平成二十一年）は金光教立教百五十年のお年柄にあたり、金光教本部では十月に記念のご大祭が執行されます。

十勝教会も奉祝の参拝を予定しております。詳細が決まり次第ご案内いたしますのでどうぞみなさん、共に参拝、奉祝のおかげをいただきましょう。

教会日誌

平成20年8月1日から

8月1日　教区青少年キャンプ「みどりのひろば」・豊浦会場。1名参加。3日まで。

8月3日　士幌町、K家、式年祭。

8月8日　教区青少年キャンプ「みどりのひろば」・朱鞠内会場。5名参加。10日まで。

8月15日　足寄町、S家、式年霊祭。

8月16日　教会創立記念祭・布教功労者報徳祭・二代教会長玉置実先生三十年祭。

8月22日　教会外壁補修工事、9月29日まで。

8月23日　歌志内市、Y家、式年霊祭。

8月30日　道東地区教会連合会・家族キャンプ。5名参加。

写真 - 教会創立記念・布教功労者報徳祭・二代教会長三十年祭

9月6日　士幌町、T家、式年霊祭。

9月7日　道東地区教会連合会・交流パークゴルフ大会。釧路市阿寒高原パークゴルフ場、3名参加。

写真 - 第 8 回道東地区教会連合会交流パークゴルフ大会 -
十勝教会からの参加は少数でしたが、今年も個人賞、教会対抗共ににきっちり入賞しました。

9月10日　金光家先祖祭、みよ子先生参拝。

9月13日　函館教会布教記念祭、衛先生参列・教話奉仕。

9月23日　秋季霊祭

写真 - 秋季霊祭
祭典の後はみんなでお下がりのおはぎと果物をいただきました。

10月11日　帯広市、M家、改式祭・神霊舎奉斎式。
10月12日　釧路教会布教百年記念大祭、衛先生祭員奉仕、7名参拝。
10月13日。　教師会研修会、釧路市。衛先生出席
10月19日　帯広市、M家、新車購入安全祈願祭。
10月20日　帯広市、K家、新車購入安全祈願祭。
10月26日　網走教会生神金光大神大祭、交流参拝。
10月31日　道東地区教会連合会役員会、北見市。衛先生出席。
11月2日　北見市、N家、式年霊祭。
11月3日　北見教会生神金光大神大祭、交流参拝。
11月3日　夕張教会生神金光大神大祭、教会長祭主・教話奉仕。
11月8日　札幌市、Y家、式年霊祭。
11月9日　帯広教会、生神金光大神大祭、衛先生教話奉仕、交流参拝。
11月9日　大祭前大掃除、大祭打ち合わせ。

写真 - 大祭前大掃除　境内では雪囲いを行いました。

生神金光大神大祭祭典次第

金光教十勝教会

先　祭員着席
次　拝　礼
次　神前拝詞奉唱
次　取次唱詞奉唱
次　祭主祭詞奏上
次　祭主玉串奉奠
次　天地書附奉体
次　参拝者代表玉串奉奠
次　金光大神賛仰詞奉唱
次　親神のよざしのままに斉唱
次　拝　礼
次　祭員退下
次、吉備舞奉納
「みずはうつわ」玉置るみ
○　立教神伝奉読
○　教　話
釈路教会在籍輔教
池亀徳和氏

♪親神のよざしのままに♪

一、親神の　わが生神　取次の　代々を経て　神からも　両方の　親神の　生神を　神のひれ　照り映えて　取次の　とこしえに　よざしのままに　金光大神　道立ちしより　今につづけり　氏子らからも　恩人なりと　のらし給える　讃えまつらん　木綿崎山に　日の光なす　道の霊光を　仰ぎまつらん

あいよかけよの生活運動

願い

わが心の神に目ざめ
祈り、対話行動をもって
神を現す生活をすすめ
共に助かる世界を生みだそう

KONKOKYO
金光教

食前訓

食物はみな人の命のために
天地乃神のつくり
与え給うものぞ
何を食うにも飲むにも
ありがたく頂く心を忘れなよ

食後訓

体の丈夫を願え
体をつくれ
何事も体が元なり